

A HAPPY NEW YEAR 1986

電 設 新 聞

発行所
 社団法人
福島県電設業協会
 発行人 大槻 清
 郵便番号 960
 福島市松浪町9-6
 (福島県電協会館)
 電話 (0245)33-6226
 編集印刷 福島タイムズ社
 福島市御山字井戸上64-5

日興の
**中期国債
 ファンド**

便利で 有利な 好利回り

日興證券

福島支店

福島市大町4-4 ☎960
 0245-22-7111

誇りをもって技術の研鑽

(社)福島県電設業協会

会長 大槻 清

謹んで新年の
 お慶び申し上げます
 (社)福島県電設業協会
 会員一同



猪苗代湖と磐梯山

明けましておめでとうございます。昭和六十一年の希望に満ちた新春を迎え、皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心からおよろこび申し上げます。

毎年のことながら元旦の清々しさと同時に、身のひきしまる厳しさを感じ、悠久の天地の歩みの大きさにうたれるものがあります。

さて、私は昨年五月当協会の通常総会において、会長職の重任を負うことになり、任務の重大さを感じながら業界発展のため、事業の推進に取り組んでまいりました。

昨年を顧みますと、長期にわたり低迷を続けておりました国内景気は、緩やかながら着実に回復されてはおりますものの、建設業界をとりまく環境は依然として厳しいものがあり、官公需の落ち込みに加え、民需についても経済情勢の不確定要素から期待ができず、総体的に受注面の減少が大きく、電気工事業界も多難な年でありました。

こうした厳しさの中で県におかれましては、医科大学整備事業、大規模年金保養基地建設事業等の大規模工事をはじめ、各工事の発注に当り、県内企業を優先に受注の拡大を図っていただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

このことは本協会が事業活動の柱として、技術水準の向上方策を積極的に取り組んでまいりましたその成果を充分にご理解いただいたものと受けとめております。



昨年十一月営繕協会が主催し、「職員の技術力向上のために」をテーマに、公共建築問題研究会が福島市において開かれましたが、東北六県の公共事業に携わっておられる発注者、設計者、施工者の皆さんが活発な意見交換を通じ、技術力の向上に真剣に取り組んでおられることと拝聴し、私共業界も、企業は勿論協会も一層技術の研鑽に努め、施工能力の向上を促進しなければならぬと痛感いたしましたところでありました。

さて、本年を展望するに公共事業は減少が予想され、又民間工事についても過大に期待できる状態になく、受注面での見通しは昨年以上に厳しいものと見られ電気工事業界にはまだまだ景気好転の足音を聞くことは出来ません。

受注産業と言われる建設業界は適正な工事の確保ができませんと、企業としての存続が危ぶまれます。

工事が減少すると競争激化によるダウンピングが憂慮されます。

これは無意味な競争で採算を度外視するは勿論、企業間の信頼感を失うこととなるので厳に慎まねばなりません。

会員一人ひとりが自社の現状をよく把握し、生きる道を真剣に考えてゆくべきです。

情報化社会の進展とともに電気需要設備は、益々複雑化、多様化してまいります。

私共業界も、これに対応すべく一層技術の研鑽、更に経営改善を図り、公共性の高い電気設備工事に携わっておることに誇りと自信をもって業務に励むよう努力いたす所存であります。

今後皆様方の深いご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の一層のご健勝とご多幸を祈念し年頭のごあいさついたします。

技術で創造する

National
 松下電工

舞台照明の演出に ディムコン

電子技術を駆使し、あらゆる舞台演出にお応えできる調光装置です。

DIMCOM STAGE SERIES

(30・60・90チャンネル)は、舞台演出の内容に応じてシーンを記憶(99シーン)させ、容易に再生できる画期的な調光装置です。場面の溶明・暗転・色調変化や個々の照明の任意の調光・点滅などが自在にでき、舞台空間に自然界や空想の世界を創り出します。



DIMCOM STAGE SERIES

ディムコン ステージ シリーズ

●お問い合わせは、——(〒963)郡山市字石塚111番地 松下電工・福島電材営業所 ☎0249(44)3331へ。

全な発展を!

心豊かな県土を実現

福島県知事

松平 勇雄



あけましておめでとうご
ざいます。昭和六十一年の
新春にあたり、皆様方のご
多幸を心からお祈り申しあ

げますとともに、日ごろ県
政にお寄せいただいております
ご支援とご協力に對し
まして、慎んで感謝申し
あげます。

おかげをもちまして、県
勢は確かな伸展をみてきま
した。本県の人口は着実に
増加しており、また、優良
企業の相次ぐ立地、さらに
は長年の念願でありました

福島空港建設の明るい見通
しや、東北横断自動車道の
工事着工など、二十一世紀
へ向けて本県が力強く躍進
しておりますことは、誠に
ご同慶のいたりでありませ

らくためには、こうした時
代の潮流変化に適切に対応
し、その波及効果を十分に
享受できるようにしていく
ことが必要であると考え

健康が確保され、全ての県
民が明るく幸せな家庭を持
ち、心ふれあう地域社会に
おいて生きがいのある豊か
な人生をおくることのでき

や「ふくしまふるさと産業
おこし」等の施策を推進し
よりたくましい産業経済社
会を築いて参りたいと思え
ております。

本日も厳しい行財政環境
にあると存じますが、従来
にも増して重点選別主義を
徹底し、経済性・効率性に
富んだ行政運営に努め、県
民の皆様への負担にいたる

で、よいところと思いとこ
ろの差が開いてきていると
思います。各社とも赤字で
います。振り返って見ます
と、案件仕事の量は、各業
者とも、確保できて売り上
げのほうも少しは増加した
のではないかと思います。

成田理事
成田 確かに我々の工事
の絶対量は少なくなってい
ました。

あっても、決算の時には操
作しておりました、経理の
専門家がれば一目で解る
んですがね。(笑)
昨年は、当初相当厳しい
年であったと思つたんです
が、乗り切れて良かったと
思っています。

会員相互の団結を強化

低成長時代の難関を克服

建設産業を取り巻く環境は依然として厳しさを増す中で、新しい年昭和六十一年を迎えました。本年も我が業界が健全な発展を遂げるためには、会員が相互に協調し、団結を強めていかなければなりません。新春談話会では、本協会の役員の方々に昨年一年の協会活動を振り返っていただくとともに、新しい年へ向けての抱負、また協会の将来像についてお話しいただきました。

生きるための「技術」を

大槻 新年明けましてお
めでとございます。本年
も建設業界にとっては厳し
いものと予想されますが、
電気工事業界発展に向けて
共に頑張りましょう。

たいていおり、皆さん方に
厚く御礼申し上げます。
お陰様をもちまして今日、
県をはじめ関係機関のご理
解をいただき公共建築工事
のうち、電気設備を分離し
ていただき、協会々員を中
心とした県内業者を優先に
受注いただいておりますこと
とは、感謝に堪えません。

ジョイントでしたが、これ
も五五対四五の高い比率で
受注できました。
電気設備協会は、中小業者
の集りでありまして、こ
のような厳しい時代を乗り
切つてゆくためには、我々
は、技術革新を通じて「技
術」によって生きる道を選
ばなくてはならない。

本日は、新年に向けて皆
さんからいろいろなお話を
お聞きしたいと思います。
そして協会としての夢を創
りたいと思っております。よ
ろしくお祈りいたします。
また、昭和六十一年を振り返
つての感想をお聞きしたい
と思つています。まず国津さん
どうぞ。

協会の歴史を継承

国津 電気設備協会は、創
立以来二十八年という長い
歴史を持っておりまして、
これを背景に諸先輩方の指
導が、よくなされておしま
す。私も今後、これを継承
してゆきたいと思つていま

大槻 そうですね。歴史
というものは、大切だと思
います。
成田 昭和六十一年とい
う年は、私共にとって大変
厳しい年でした。実は、協
会会員からも落伍者が出る
のではないかと心配でした。

中島 確かに、中島さん
が言われた誘致企業に関す
る対策は、まだまだです。
これは、協会の大きな課題
です。

八巻 相双方部を申しま
すと、公共工事は非常に少
なかつたんです。当方部で
は、今まさに相馬港を中心
とした開発が進んでおりま
して、用地の買収率も相馬
市分では九二%の達成率で
す。相馬開発が進めば、地
域経済も活発化するものと
期待しております。

松崎 いわき方部も昨年
は厳しかったです。中通り
では、大規模工事の発注も
ありました。

さて本協会の事業運営に
ついては、各委員会を中心
に活動を進めておりまして
予想以上の成果を挙げてい



大槻会長

まして、医大については県
内業者に発注を実現してお
ります。また、二本松市に
建設される大規模年金保養
基地については、大手との

大槻 協会のビジョンを
作るということは、本当に
その通りなんです。しから
ば、どういふビジョンを作
るかというの、総務委
員会の仕事として、検討し
ていただき進めたいと思
います。では、会津支部長さ
んお願いします。

新田 会津支部において
は、昨年は小さな仕事では
ありますが、県・市の工事



新田理事

佐藤 福島支部も、会員
の連帯と協調で、やつま
いりました。昨年は、九月
に自民党県連の移動政調会

大槻 それでは、福島支
部長さん、お願いします。
佐藤 福島支部も、会員
の連帯と協調で、やつま
いりました。昨年は、九月
に自民党県連の移動政調会

大槻 ありがとうございます
ました。それでは、技術委
員長さんお願いします。
黒田 会長さんらの御指

大槻 ありがとうございます
ました。それでは、技術委
員長さんお願いします。
黒田 会長さんらの御指

技術研修は活発



佐藤理事

昨年郡山で行われまし
た技術講習会、二本松で開
かれた中堅技術者研修会、
そして会津若松での県立博
物館現場研修会を実施いた
しましたが、特に開催地の
支部の皆さんは、非常に
お世話になりました。
これらの研修は、後にま
とめて県に対してリポート
を提出しており、協会の技
術向上に対する積極的な姿
勢は、PRできたと思
います。



国津副会長

大槻 確かに、中島さん
が言われた誘致企業に関す
る対策は、まだまだです。
これは、協会の大きな課題
です。

八巻 相双方部を申しま
すと、公共工事は非常に少
なかつたんです。当方部で
は、今まさに相馬港を中心
とした開発が進んでおりま
して、用地の買収率も相馬
市分では九二%の達成率で
す。相馬開発が進めば、地
域経済も活発化するものと
期待しております。



八巻理事

先日は、ある大手の建築屋
さんとお話ししましたら、こ
れからは、箱物を手がけて
ゆくという考え方は、取
り残されてしまう。都市づ
くりという観点に立たなく
ては、ということなんです。例
えは自社で造つた建物を買
貸して、そこから利益を生
み出すというようなことで
すね。民間の建物の工場の
利益で会社を運営してゆく
という形では、どうにもな
らない時期に来ているとい
うのです。



松崎理事

先日は、ある大手の建築屋
さんとお話ししましたら、こ
れからは、箱物を手がけて
ゆくという考え方は、取
り残されてしまう。都市づ
くりという観点に立たなく
ては、ということなんです。例
えは自社で造つた建物を買
貸して、そこから利益を生
み出すというようなことで
すね。民間の建物の工場の
利益で会社を運営してゆく
という形では、どうにもな
らない時期に来ているとい
うのです。

ビジョンが必要

は、まっぴらなく支部会員
にゆきわたる何のトラブル
もなく越年できました。大
変良かったと思つていま
す。しかし大きな仕事になる
わけでありませぬ。

大槻 それでは、福島支
部長さん、お願いします。
佐藤 福島支部も、会員
の連帯と協調で、やつま
いりました。昨年は、九月
に自民党県連の移動政調会

大槻 ありがとうございます
ました。それでは、技術委
員長さんお願いします。
黒田 会長さんらの御指

大槻 ありがとうございます
ました。それでは、技術委
員長さんお願いします。
黒田 会長さんらの御指

電設業の健

春
新座談会



黒田理事

一連の研修会の中で、二つばかり感じたことがあります。一つは、中堅技術者研修会で、はじめてTQCを取り上げたわけです。

「仕事」はつくる時代

ニーズは正確に把握

この時の感想文では、七割の人が、ためになったというのでした。ということ。これは、今の中堅技術者、中間管理者という人が、何か新しいものを求めているのではないかと感じました。それから、博物館の研修会は、県内各支部から参加していただいたわけです。この時、現場で行われました質疑応答は、非常に活発でありまして、今後

高橋 暗中模索のスタートだったんですが、皆さんの御協力で、機関紙を創刊することができました。ありがとうございます。



高橋理事

出席者

(社)福島県電設業協会

- | | | | |
|-----------------|-------|------------|--------|
| 会長 | 大槻 清 | 常任相談役 | 吉田 愨七 |
| 副会長 | 國津 政夫 | 常任相談役 | 坂本 博太郎 |
| 副会長 | 遠藤 雄蔵 | 理事(いわき支部長) | 松崎 勉 |
| 副会長 | 三浦 博忠 | 理事(相双支部長) | 八巻 久志 |
| 理事(福島支部長) | 佐藤 春雄 | 理事(会津支部長) | 新田 一男 |
| 理事(郡山支部長、総務委員長) | 成田 幸一 | 理事(技術委員長) | 黒田 正之 |
| 理事(白河支部長) | 中島 幸一 | 理事(広報委員長) | 高橋 幸一 |

大槻 皆さんから、昭和六十年を振り返ってということをお話をいただきましたが、次に我々を取り巻く環境と電気工事業の将来像ということを話題を移したいと思います。

吉田 昨年からの座談会をも含めて、役員の方々が話をされる機会が増えたことは良かったと思います。この状態を継続して欲しいと思います。

住民パワーと連動 七十年に本県で開催される国体を目指し、青少年の体力向上を図るのであれば、寒冷地であるということも考慮して、体育館が最も必要であり、この要望は強いので、我々が口火を切って、いろいろな機関に働きかけて、一大運動を展開することも考えられます。



坂本相談役

大型工事で人手不足

将来に向け不安材料

遠藤 坂本相談役や大槻会長がおっしゃいましたように、最近公共工事における大型物件も、地元業者が受注できるようになりました。これは大変ありがたいことだと思っております。

大槻 吉田さんのお話には、重大な意味が含まれております。よく理事の皆様と相談してみたいと思います。

三浦 三浦さん、何かございませぬか。

三浦 三浦さん、何かございませぬか。



三浦副会長



吉田相談役

民間工事も分離へ 坂本 我が協会は、約三十年の歴史があり、その間

大槻 吉田さんのお話には、重大な意味が含まれております。よく理事の皆様と相談してみたいと思います。

遠藤副会長 遠藤 坂本相談役や大槻会長がおっしゃいましたように、最近公共工事における大型物件も、地元業者が受注できるようになりました。これは大変ありがたいことだと思っております。

大槻 吉田さんのお話には、重大な意味が含まれております。よく理事の皆様と相談してみたいと思います。

三浦 三浦さん、何かございませぬか。

大槻 ありがとうございます。今日は、いろいろなお話を聞かせていただきました。これを元にいたしまして、理事の皆様をはじめ正副会長、総務委員会ではいろいろ検討いたします。協会の進むべき方向を、よく見極めてまいりたいと思っております。皆さんの御協力を切にお願いいたします。

清水 博 清水 博 清水 博



福島県土木部長

清水 博

事業量確保に全力

あけましておめでとうございます。昭和六十一年の新春を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

願ひますと、昨年の我が国経済は、総じて拡大基調で推移したものの、依然として外需依存型で欧米諸国との間に過去に例をみない経済摩擦が生じているところであり、内需拡大による安定的経済成長の実現が強く求められております。

本県経済も、総じて緩やかな回復基調で推移したところであり、業種間に格差があり、建設産業は、依然として厳しく先行き予断を許さない状況にあることは御承知のとおりであります。

さて、昭和六十年度の公共土木事業の執行につきましましては、県内景気回復の一層の促進と適正工期確保の観点から大前倒しを計画したところ、年度当初には御承知の国庫補助、負担率の一律カット問題があり、公共土木事業の執行に大きな影響を及ぼし、その回復が憂慮されたところであります。

が、関係各位に多大の御協力を賜わり概ね計画を達成したところであります。

紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

本年度も残すところ三ヶ月となりまして、去る十月国において「内需拡大に関する対策」が決定されたところでありますが、この中で、公共投資について一兆八千億程度の事業規模追加が予定されているところであります。

当土木部といたしましては、この対策に基づくゼロ国債活用による一般公共事業や災害復旧事業の実施手続等に速やかに取り組み、社会基盤の充実に併せて、境期における公共事業量の確保を図り、県内経済の活性化に寄与して参りたいと考えております。

この御協力と御支援をお願いする次第であります。

昭和六十一年度を迎え、国・県を通じ財政は依然としてひっ迫した状況にありますが、本格的な情報化、高齢化社会の到来に備えて、今から、当土木部が担当する道路、河川、ダム、都市施設及び港湾等の各般にわたる社会資本の計画、かつ、着実な整備に取り組み、県民生活の充実と活力ある経済社会の実現に努めることが我々の世代に課せられた責務であると考えております。

今後とも、公共事業量の確保拡大に努めるとともに、限られた財源の効果的活用を一層推進して参る所存であります。

現在、公共事業の施工を担う建設業をめぐる環境は依然として厳しいものがありますが、業界におかれましては、相互に信頼しつつ、施工技術の向上、さらには、経営体質の改善強化に意を用いられ、建設業界の担う社会的使命を十分果たされるよう切に希望する次第であります。

年頭にあたり、公共土木事業の円滑な執行と皆様方の御多幸を祈念し御挨拶いたします。

年頭のこあいさつ

情報化時代を先取り

福島県土木部
次長 渡 辺 秀 夫



あけましておめでとうございます。昭和六十一年の新春を迎え、皆様には新しい年に対しての期待と希望を込めてお慶び申し上げます。昨年、建設行政の当面する課題として高齢化、国際化、ハイテク化などに対する施策がいろいろと行われて来ておりますが、現代の社会の中にある「ひずみ」と不均衡に対する対策が今年も昨年以上に重点的に取りあげられることと思われ

ます。第一にあげられますのは「国際収支の不均衡」で各省にプロジェクトチームが出来て輸入の増大策等が検討されております。OECD(経済協力開発機構)の今後一年半の「経済見通し」によりますとわが国の経営収支は六十年四七五億ドルの赤字に対し、六十一年は五七二億ドルの赤字と二〇%の成長が見込まれ六十二年も同程度の赤字が予想されております。わが国の黒字幅の膨張は諸外国に比べて異常な大きさであり、アメリカの赤字が三、四、五と増え、六十年には一四六〇億ドルに達する見込みとなれば貿易不均衡に対する外圧は益々大きくなるものと思われ。第二には「国内の財政収支の不均衡」があげられます。この十年間でGNP(国民総生産)が増大して三〇〇兆を越え国民の貯蓄額も急膨張し、二五〇兆円と増え、反面国債の残高が一三〇兆に達し、国の予算は増額出来ない状態にあります。その他では地域間、業種間の不均衡などもあげられております。貿易の不均衡は、日露戦争関東大震災以来の経済危機と言われ昨年末に免税債の発行が大きな話題にされたのも当然のことと思われ。これらのいろいろな「ひずみ」を打開するためには民間活力の導入をともなう内需拡大策が今年も一層強力に策として取り行われていくこととなります。土木部の予算も久しぶり大幅な伸びを示しました。今後いろいろな規制緩和

体質改善に努力

福島県土木部
参事兼監理課長 福地 庄 司



あけましておめでとうございます。新しい門出にあたり、皆様の御多幸と御繁栄を心からお祈り申し上げます。さて、わが国の経済は、全体としては着実な景気回復の歩みを続けておりますが、その一方で東北地方の経済は、今一つ景気の回復に盛り上がりを見せ、疲弊

の度合いを強めていると高呼されております。御承知のとおり、六十一年度の国の公共事業予算の概算要求基準は、引き続きマイナスとされたところであります。建設省では、公共事業費の確保・拡大を最大の基本方針として事業費ベースで対前年度比六%増の要求をしており、本県としてもその結果に大きな期待を寄せております。土木部の主管課として部の内予算を調整し各種事業の発注事務の総括を行っているほか、建設業の指導育成を担っている私共と

以来三十年近くの歴史の中で相互の親睦を深めながら経営の合理化、技術の研さんに努めて来られたが、昨年の電設新聞の発刊を契機に、前述しましたような追い風を受けて今年更に発展させますことをお祈り

柔軟な発想で対応

福島県土木部
参事兼繕課長 橋 本 泰 巳



あけましておめでとうございます。希望に満ちた昭和六十一年を迎え、皆様のご繁栄を心からお慶び申し上げます。営繕行政につきましては、平素多大なるご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。近年、我が国の経済・社会は、都市化の進展・技術革新等により、大きく変貌

しつつあり、建築物に対しては、周囲との調和・良好な居住環境の確保、高度で複雑な建築機能の確保等、社会のニーズは多様化・高度化してきております。この様に、建築生産の分野においても、企画・設計・施工の全般にわたる高度技術の開発、情報システムの導入等一層高度な技術の開発・普及が求められております。当県におきましても、先端産業を中心とした工場・進出及び大規模設備投資から、住宅増設の促進まで、多種多様な民間建築工事の

生活を営むため必要不可欠である公共施設や各産業施設等が、現下の国、地方自治体の財源不足が進行する中でその拡大は誠に容易でない情勢にあるといえましょう。本県は、広大な面積と積雪寒冷地帯の厳しい自然環境の中で、社会資本の整備はまだまだ不十分でありますので、予算の効率的な執行に努め、二十一世紀に向けて質の高いしかも後世に憂いのない社会資本の蓄積が図られるよう全力を傾注して参りたいと考えております。申し上げるまでもなくこれら社会資本整備の直接の担い手は建設業であります。「建設」は創造であり、それは進歩発展でもあると、言われているように、社会

ましますとともに皆様にとりまして今年も情報化時代を先取りした輝かしい充実した年とされますように御期待申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

飛躍は目覚ましいものがあり、一方、公共建築工事を発注する私共といたしましては、建築界に効果的な誘導が出来るよう、柔軟な発想で今年度の事業に対応して参りたいと考えております。特に、昨年十一月福島市で開催されました「第4回公共建築問題研究会」の席上、各界の方々より貴重な問題提起がなされました。等々を真剣に取り組みでまいると共に、「情報の公開」等に関しましては、最大限公表すべく努力致したいと考えております。又、意見交換の場として、今年も各種関係団体の方々と継続的に同一テーブルを囲む場を設定し、県内・外の建築界の情報把握に努め、営繕行政に反映し、官民一体の技術力向上を図り、県民の皆

様が安心して利用していただける施設づくりに取り組んで参る所存であります。今年度は、営繕課と致しましては、昨年から目標として、(一)公共建築物のあり方、(二)諸施設の意識調査の実施、(三)リサイクルの考慮、(四)多目的共同溝の活用等々の採用のフォロー作業の、新たな展開といたしまして、(一)公共建築物の使命の追求、(二)意識調査分析結果の反映、(三)耐用年数調査結果の分析、(四)公共施設の意識調査の結果につきましては、施設を利用する方々の意見が十分に反映されるよう基本構想時に積極的に取り入れ、情報化時代における価値観の変化や技術革新に追いついていくための努力を怠りません。

て運動を展開していかねばならない大事な時期にありませぬ。受注産業という生産システムの特殊性から建設業の置かれている現状は誠に厳しいものと推察いたしますが、このような時期こそ、何よりも建設業者自身が実態を正しく認識し、体質を改善していく努力を自ら示していくなければなりません。その自覚が建設業の近代化、合理化へのエネルギーとなり、建設業界のパワーアップを促進するものと確信する次第であります。終わりに、新しい年が建設業にとりまして明るい一年になりますようお祈り申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

をなるべく、部位別推定耐用年数の明記など維持保全業務を積極的に推進して参りたいと考えております。又、昨年は、建設省の建築・設備工事共通仕様書が改正され、それに伴い本県においても、その内容を検討し、県の実態に適合した福島県版特記仕様書、及び標準図の改訂作業を終え、新春を迎えて説明会を開催いたしましたと思っております。当県における建築関係者の各種講習会への参加は多数の受講者を生み、改めて、技術者の業務に対する意欲、及び自助努力のたくましさを感じております。今年も、各市町村及び各種関係機関の皆さんとの情報交換の輪を広げ、従来にも増して、美しく、安全で、使い易く、長持ちする「建築物の創造はもとより、地域景観形成における、先達者としての役割を担う施設づくりに、全力あげてまいらる決意でありますので、皆様方の変らぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

丸山不二雄(陸奥電設) 昭和十三年四月二日生
和十三年四月二日生
◎白河支部
▽吉田勝次(御吉田電気工業) 大正三十一年十一月二十八日生
▽立原新平(立原電気工業) 大正十五年六月十三日生
◎いわき支部
▽坂本博太郎(常盤電設) 大正三十三年三月三日生
▽志賀由英(志賀電気工業) 大正十五年九月十日生
◎郡山支部
▽遠藤光昭(北光電設) 昭和十三年十月二十一日生
◎会津支部
▽新田一男(柳光電設) 大正十五年五月十九日生

われら寅年生まれ

- ◎福島支部
 - ▽二階堂寅之介(二階堂電設) 明治三十五年十二月二十一日生
 - ▽吉田新市(吉田電気工業) 大正十五年三月二十一日生
 - ▽田村忠男(田村電設) 大正十五年八月十八日生
 - ▽高藤賢(日本電設工業) 大正十五年三月三日生
 - ◎福島営業所 大正十五年三月二十四日生
- ◎白河支部
 - ▽吉田勝次(御吉田電気工業) 大正三十一年十一月二十八日生
 - ▽立原新平(立原電気工業) 大正十五年六月十三日生
- ◎いわき支部
 - ▽坂本博太郎(常盤電設) 大正三十三年三月三日生
 - ▽志賀由英(志賀電気工業) 大正十五年九月十日生
- ◎郡山支部
 - ▽遠藤光昭(北光電設) 昭和十三年十月二十一日生
- ◎会津支部
 - ▽新田一男(柳光電設) 大正十五年五月十九日生

スポットライトから
システム調光まで

MARUMO ELECTRIC CO., LTD.

丸茂電機株式会社

本社・営業部 千101東京都千代田区神田須田町1-24 TEL (03)252-0321
大阪出張所 千530大阪府北区野崎町9-6東船場ビル TEL (06)312-1913-1922
名古屋出張所 千460名古屋市中区栄4-1-1(中ビル) TEL (052)263-7425(代)
福岡出張所 千810福岡市中央区大名1-14-45(福岡海地ビル) TEL (092)741-4762(代)

◇変圧器の総合メーカー
株式会社 愛知電機製作所

◇高圧スイッチの専門メーカー
株式会社 大垣電機製作所

◇粉体混合機、温水ボイラー
愛知電機商事(株) 0222 21-5576

連携を密に団結

(社)福島県建設産業団体連合会
会長 菅 家 忠 男



新年明けましておめでと
うございます。

本年はかつてない円高基調により、我が国の経済情勢を見ると、全体として景気は緩慢ながらも上向きに転じているとはいえず、対外的には大幅な貿易黒字の発生に伴い、過去に例を見ない経済摩擦を招来するとともに、対内的には景気動向に地域別、業種間にばらつきが見られ、国内需要の喚起による高めの経済成長が強く求められております。いっぽう、公共事業費は、衆知のとおり、厳しい財政事情により、昭和五十五年度以降抑制され、更にこれに加え、内需振興に大きな役割を果たしている民間住宅着工も、昭和五十五年度以降減速しており、厳しいものとなっております。

このような情勢の中で、建設連は昨年二月、県内建設関連産業界の三十三団体を糾合し、更にその後四団体がこれに加わり、現在三十七団体をもって組織し、結成以来二年にならんとしますが、県内の基幹産業としての社会的使命を自覚し、経営の近代化、体質改善及び施工技術等の向上に努力し、この難局に取組んでいるところであり、その活動は本県建設産業界の中心的存在として、評価されているところであります。

さて、昭和六十年を振り返って見ると、地域経済や雇用に大きなウエイトを占め、基幹産業と言われながら、とかく馴染の薄い建設関連産業に對し、理解と認識を高めるため、昨年建設連として初めての試みとして、会津地方地域懇談会を開催したところであります。この地域懇談会を盛大かつ効果を高めるために、地域懇談会を核とし、これに移動役員会(常時福島市で開催

技術営業を拡大

福島県電気工事工業組合
理事長 中 島 春 記



明けましておめでとうござい
ます。

昭和六十一年の新春を迎え、皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心からお喜び申し上げます。

昨年中は当工業組合の運営に当りまして、県ご当局、東北電力株式会社をはじめ関係機関の皆様より多大のご指導、ご支援を賜わり、又組合員諸兄より絶大なご

協力をお願いいたしましたことに対し、深く感謝を申し上げます。更に、深く感謝を申し上げます。

さて、私は昨年五月の通常総代会において池添理事長の後を受け理事長職の大任を負うこととなりました。基本的には池添氏の敷かれた路線を踏襲しながら、事業の推進に取り組んでまいりました。

共同保守管理業務、漏電遮断器の取付推進運動を通じて直接需要家と接触され、営業の拡大に役立つことを期待するものであります。

会員各位のいっそうの御努力をお願いするとともに、関係御当局等の御指導、御援助を切にお願ひ申上げまして新年のごあいさつといたします。最後に貴協会の今後ますますの御発展を心からお祈りいたします。

本年も又、経済環境の厳しい状況から建築工事の好転は期待できない現状にあり、引き続き苦しい年になると思われま

労働災害につきましては、近年交通災害を含め多発の傾向にあります。事故防止については従来より真剣に取り組んできたところであり、今後共一層組合員の協力により無事故、無災害職場の確保に尽力されるよう祈念するものであります。

電気工事士など3資格 61年度国家試験予定決まる (財)電気技術者試験センター

電気技術者試験センターでは、昭和六十一年度試験の実施予定を発表した。

第三種電気主任技術者国家試験
試験日：五月六日、二十日
試験科目：電気学、電気設備、電気工事

第二種電気主任技術者試験
試験日：八月九日、十日
試験科目：電気学、電気設備、電気工事

第一種電気主任技術者試験
試験日：十一月二十一日、三十日
試験科目：電気学、電気設備、電気工事

電気工事(一般用電気工作物)の作業
電気工事(特殊用電気工作物)の作業

24日から説明会
特記仕様書と標準図集
県土木部が、制定した建築設備工事の特記仕様書と、標準図集(昭和六十一年度版)の説明会が、次の要領で開かれます。

日立
総合ビル監視制御
日立ビルマックス
株式会社日立製作所 福島営業所
所長 小野 昭 總
〒960 福島市大町4番15号(福島県商工会館)
電話 福島 (0245)23-0241~3

TAKAOKA
VT-700 薄形キュービクル
VCB 3段積奥行 700mm
高岳製作所
福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

丸吉電機株式会社
取締役社長 吉田 悠
仙台支店 〒983 仙台市街町3-5-6
TEL(0222)84-3035~8
本社 〒105 東京都港区芝3-24-12
TEL(03)453-5331

時代が、熱い注目。HIDライティング。
道路、スポーツ、工場はもとより、ビル、大規模施設、ショップ照明にいたるまで。そのパワーと、その多彩さに、いまのニーズは高まっています。とくに、アイ マルチハイエースは演色性に優れ、文化・商業施設に幅広く利用されています。
●アイ マルチハイエース ●アイ スペシャルクス ●アイ クリーンエース ●アイ サンプルエース
岩崎電気
本社/〒105 東京都港区芝3-12-4
03(452)5351(大代)
郡山営業所/〒963 郡山市菜根1-21-17
0249(33)5308(代)

世界がお客様
TERASAKI
ブレーカのテラサキです。
ノーマルブレーカ
漏電遮断器
気中遮断器
寺崎電気産業株式会社
本社/大津市阿倍野区阪南町7丁目2番10号 06(692)1131(大代)
東北機器出張所/宮城県仙台市若野町2丁目24番9号 0222(83)0501

映像 音響機器の総合
システム設計・工事 保守
松下電器産業(株) 東北特機営業所 (0222)23-4111
福島ナショナル通信特機(株) 本社(0249)23-1710
福島(営)(0245)35-6186
いわき(営)(0246)24-1821
会津(S S)(0242)23-1919

現場。パトロール実施

支部で報告書まとめる

本協会の福島、郡山、いわきの各支部では、このほど六十年度の現場パトロールを実施し、その報告書を関係機関に対し提出した。

各支部ごとの実施内容は、次の通り。
福島支部
福島支部では、福島市建設



県営住宅鯉岡団地（いわき市）でのパトロール

部住宅建設課の池田信男設備係長、宮田彰久設備技師らの参加を願い、佐藤春雄支部長ら十二名が、十二月十一日パトロールを実施した。

今回のパトロールは、市の担当官の指導のもとに、施工管理計画及び品質管理、現場の安全管理等を重点に行われ、一行は、二班に分かれて現場を訪れた。

第一班は、福島市建設部の池田係長と田村忠男技術委員長を中心に、福島市の東南に位置する金谷川小学校の改築と同校内運動場、そして立子山中学校の室内運動場改築の電気設備工事の現場などをパトロールした。また第二班は、福島市の宮田技師、佐藤支部長らを中心に、福島市の西北部、北信中学校と平野小学校に出向き、校舎改築電気設備工事を行っていた。

今回の安全パトロールには、いわき市の県立小名浜高等学校校舎増築工事現場など三カ所で、現場視察研修会（安全パトロール）を実施した。

この日は、各社の主任技術者や現場代理人ら二十八名と郡山市の建築課担当官らが参加した。研修は二班に分かれて行われ、第一班は富田中学校、市営住宅に向かい、また

いわき支部

この日は、各社の主任技術者や現場代理人ら二十八名と郡山市の建築課担当官らが参加した。研修は二班に分かれて行われ、第一班は富田中学校、市営住宅に向かい、また

二班は、大槻保育所、三穂田光昭技術委員の司会で質疑応答が行われ、自主管理施工等について討議したほか、新製品の使用についても話し合うなど、各議題ごとに活発な意見交換が行われた。

同支部が行った福島市社会福祉基金に対する寄付は、今回で九回目。このほか同支部では、二本松市に対して毎年二十万円ずつ寄付を行っている。

この席で秋山所長は「進出企業に対して、操業開始したのちの、メンテナンスの関係もあるので、地元業者の活用

地元活用を陳情

大槻会長らが上京

本協会の大槻清会長をはじめ、四正副会長と、安部茂専務理事は、十二月十一日上京し、本県選出の国会議員らに地元業者活用などを陳情した。

一行は、県内の民間工事、誘致企業の発注する工事、また東北横断自動車道いわき新潟線建設に伴う電気工事の地元業者活用について、代議士らの理解と協力をお願いした。

また一行は同日、県の東京事務所で秋山慶治所長らと、約一時間にわたり懇談し、本県への企業進出等に対する協会としての取り組み等について話し合った。

この席で秋山所長は「進出企業に対して、操業開始したのちの、メンテナンスの関係もあるので、地元業者の活用

この日は、大槻会長ら歴代の福島支部長が同行し、市長公室で、吉田修一市長に佐藤支部長から寄付金が手渡された。

福島市に50万円寄付

本協会福島支部

本協会の福島支部（佐藤春雄支部長）では、十二月十四日、社会福祉のために、福島市の社会福祉基金に五十万円を寄付した。

この日は、大槻会長ら歴代の福島支部長が同行し、市長公室で、吉田修一市長に佐藤支部長から寄付金が手渡された。

この日は、大槻会長ら歴代の福島支部長が同行し、市長公室で、吉田修一市長に佐藤支部長から寄付金が手渡された。

この日は、大槻会長ら歴代の福島支部長が同行し、市長公室で、吉田修一市長に佐藤支部長から寄付金が手渡された。

この日は、大槻会長ら歴代の福島支部長が同行し、市長公室で、吉田修一市長に佐藤支部長から寄付金が手渡された。

郡山支部

郡山方面においても、電設業協会郡山支部と郡山電気設備技術研究会の共催で、十二月十日に現場研修が行われた。

郡山方面においても、電設業協会郡山支部と郡山電気設備技術研究会の共催で、十二月十日に現場研修が行われた。

郡山方面においても、電設業協会郡山支部と郡山電気設備技術研究会の共催で、十二月十日に現場研修が行われた。

郡山方面においても、電設業協会郡山支部と郡山電気設備技術研究会の共催で、十二月十日に現場研修が行われた。

総合的な施策を推進

福島県土木部

参事兼住宅課長 加藤 齊 三



あけましておめでとうございませう。

昭和六十一年の新春にあたり、皆様方の御多幸を心からお祈り申し上げますとともに、日頃、住宅・建築行政にお寄せいただいたお喜びますご支援とご協力に対しまして、謹んで感謝を申し上げます。

今日、住宅・建築行政をとりまく内外の情勢は、かならずしも楽観できる状況ではなく住宅・建築関係予算も、ここ数年間連続して抑制されております。住宅は「量から質の時代へ」と言われておりますが、本県の住宅事情は、各種調査によりみると、住宅に不満をもつ世帯が数多く、最低居住水準未満の世帯もかなり数にのぼっており、質的行政にはなお低い水準に止まっております。

改めて申し上げるまでもなく、住宅は潤いのある家

域毎の多様な賃貸住宅を補完するために創設される「地域特別賃貸住宅」についても建設を行ない、幅広い公共賃貸住宅の需要に対応して参りたいと存じます。

また、県民の根強い持家取得志向に対しては、住宅金融公庫の資金の確保、木材振興の一助をも考慮した新しい「地域優良木造住宅建設促進事業」についての検討、及び県個人住宅建設資金の利用の拡大を図り良好な住宅建設の促進に努めます。

一方、建築行政におきましては、建築物の大型化・複雑化に伴いその安全性の確保が一層重大な課題となっており、近年とみに多くなつた建築災害の面に対処

この日は、大槻会長ら歴代の福島支部長が同行し、市長公室で、吉田修一市長に佐藤支部長から寄付金が手渡された。

協会のうごき

12月

- 5日 福島タイムズ社主催新春座談会 (会長、専務理事) 杉妻会館
- 9日 協会新春座談会 (正副会長、支部長ほか) 電協会館
- 同 体験発表会リハーサル
- 11日 県選出国會議員及び福島東京事務所長に陳情 (正副会長、専務理事)
- 18日 桜井、小島家ご遺族に弔慰金贈呈 (会長) 電協会館
- 27日 官公庁に年末挨拶まわり (会長ほか)

第2回 保守管理委員会を開く

県電気工事工業組合 (中島春記理事長) は、十二月十七日福島市の電協会館で、第二回保守管理委員会を開いた。この委員会には、各地区の委員が出席し、四月一日付で仙台通産局長に提出する保守管理業務規程変更申請書の内容等について協議するとともに、十二月より開始された新規受託契約コンクール等について話合われた。そして今度のコンクールでは、各地区とも二十件の新規契約を目指し取り組むことを申し合わせた。

配電盤専門メーカー

古川電気工業株式会社

代表取締役社長 茂泉 嘉 佐

本社 仙台市扇町2丁目1-10 TEL (0222) 36-3327 40 千983
 工場 仙台市扇町2丁目1-10 TEL (0222) 36-6317 40 千983
 支店営業所 東京、仙台、盛岡、青森、秋田、札幌
 郡山営業所 福島県郡山市並木4丁目5-2 TEL (0249) 34-0859 40 千963

所長 松田 貴 充

受変電設備の総合メーカー

- MDR1C計測システム
- 屋内外閉鎖型配電盤
- 各種自動制御盤
- DW式監視制御システム
- コントロールセンター
- 計装盤

株式会社 宮城電機製作所

本社 工場 千980-01宮城県宮城郡利府町飯土井字長者前51番地 TEL 022356-5111 40
 東北営業所 千980 仙台市双葉ヶ丘一丁目45番8号 TEL 0222(34)3311 40
 東京営業所 千170 東京都豊島区南大塚二丁目2番5号 TEL 03(947)6581 40
 福島出張所 千960-01福島市北矢野目字成田小屋12 (東開商事ビル3階) TEL 0245(53)6651
 いわき営業所 千970 いわき市平上荒川字安草48 (山崎ビル2階) TEL 0246(28)1491

配電盤、制御盤、分電盤 計器、しゃ断器、電子機器

(テレマスター、回線マスター、その他)

川崎電気株式会社

取締役社長 川崎 暢

福島営業所 所長 三浦 征 治

本社 山形県南陽市小岩沢225 電話(0238)49-2011
 福島営業所 福島市大町1-13長谷川第2ビル 電話(0245)23-2225

TOWA

高圧キュービクル他 製造・販売

販売元 **東和電材株式会社**

製造元 **東和電機工業株式会社**

郡山営業所 郡山市台新2-21-12 TEL 0249 33-3299

技術開発で産業界に貢献する 配電盤製造業。

(製造品目)

高低圧屋内外キュービクル、各種分電盤 制御盤、操作盤、計装盤、設計製作

株式会社 三陽電機製作所

いわき市鹿島町久保字飯栗田8番地 TEL (0246)58-3801 40